

赤べこ伝説発祥の地
柳津町

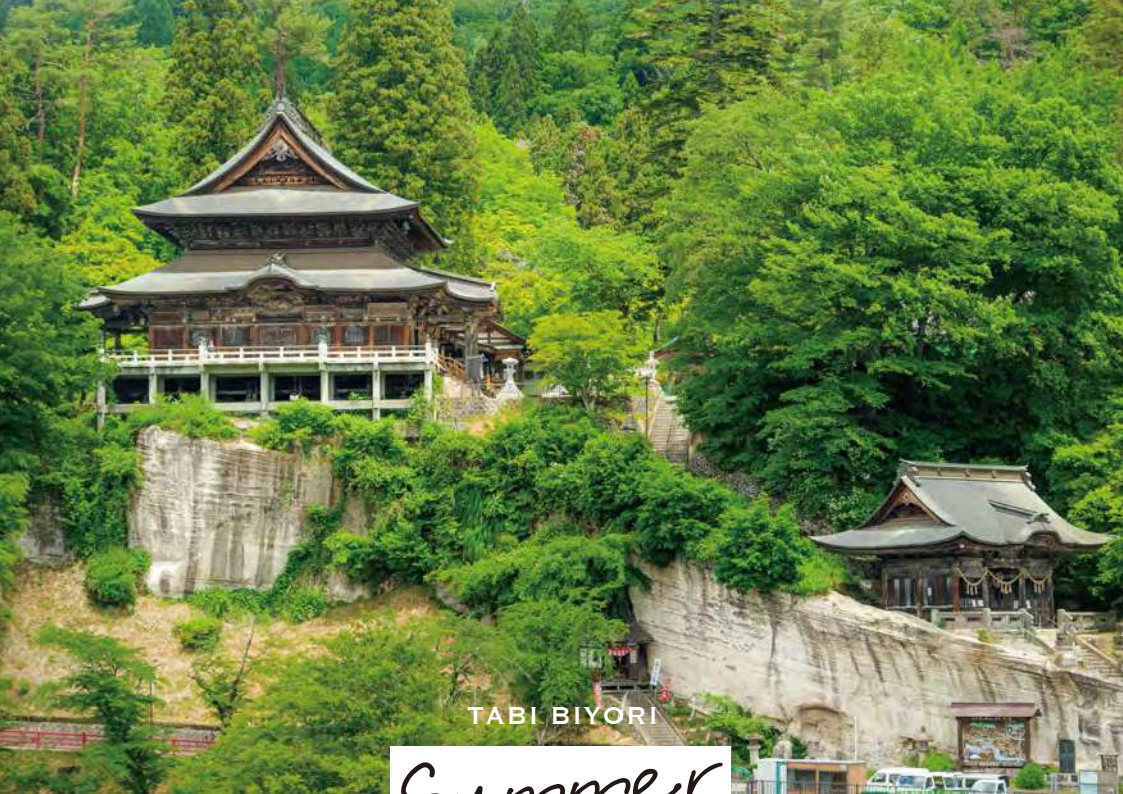
Y
A
N
A
I
Z
U
T
A
B
I
B
I
Y
O
R
I

柳津 旅日和



福を祈る旅、
幸に満ちる旅、
会津やないづ

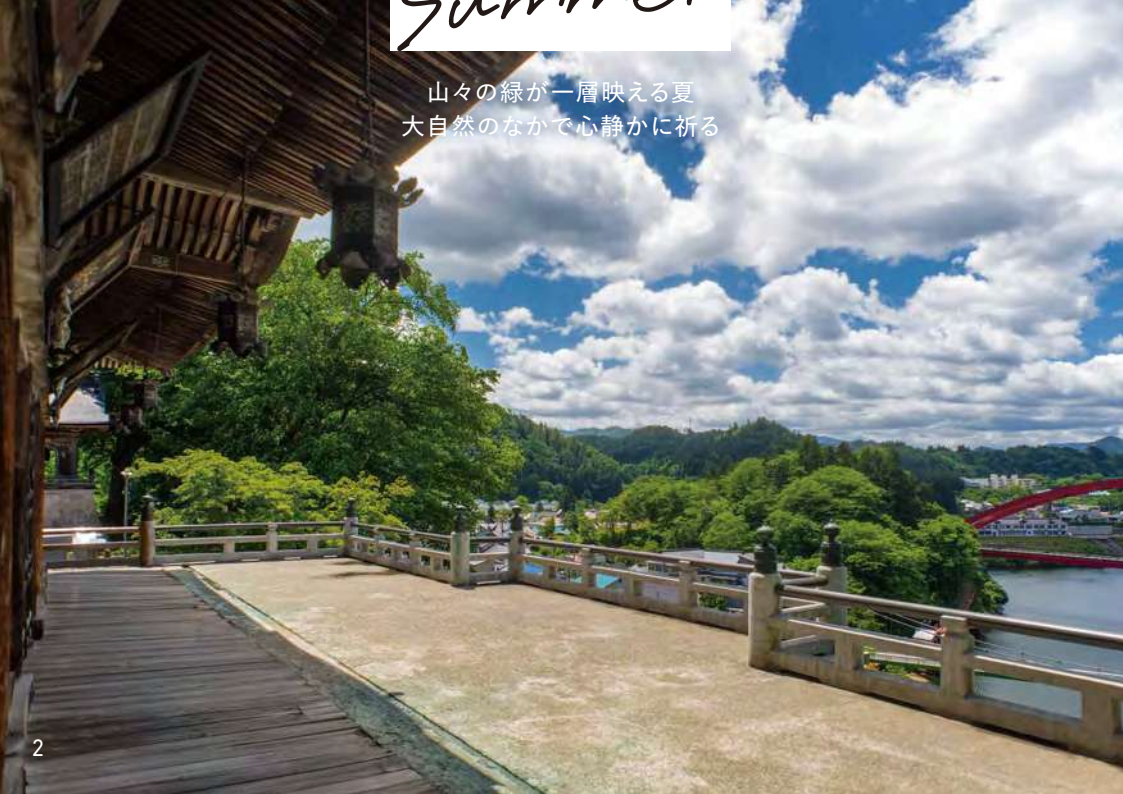




TABI BIYORI

Summer

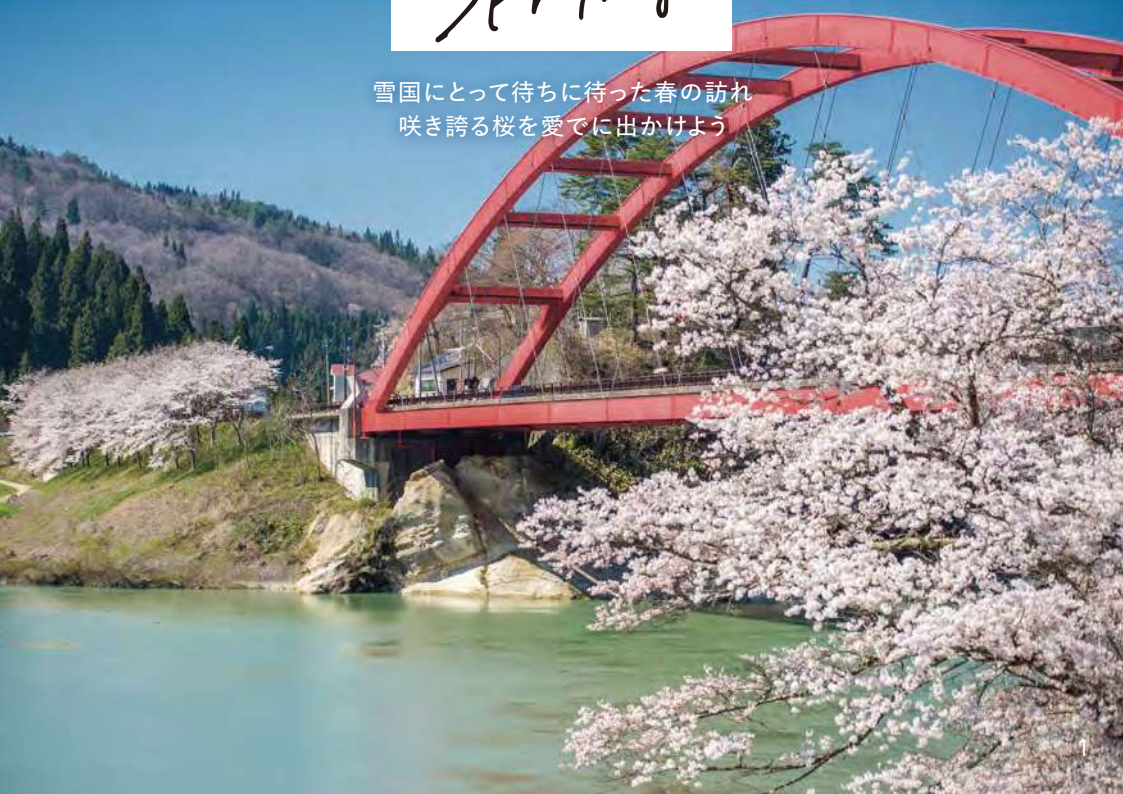
山々の緑が一層映える夏
大自然のなかで心静かに祈る



TABI BIYORI

Spring

雪国にとって待ちに待った春の訪れ
咲き誇る桜を愛でに出かけよう

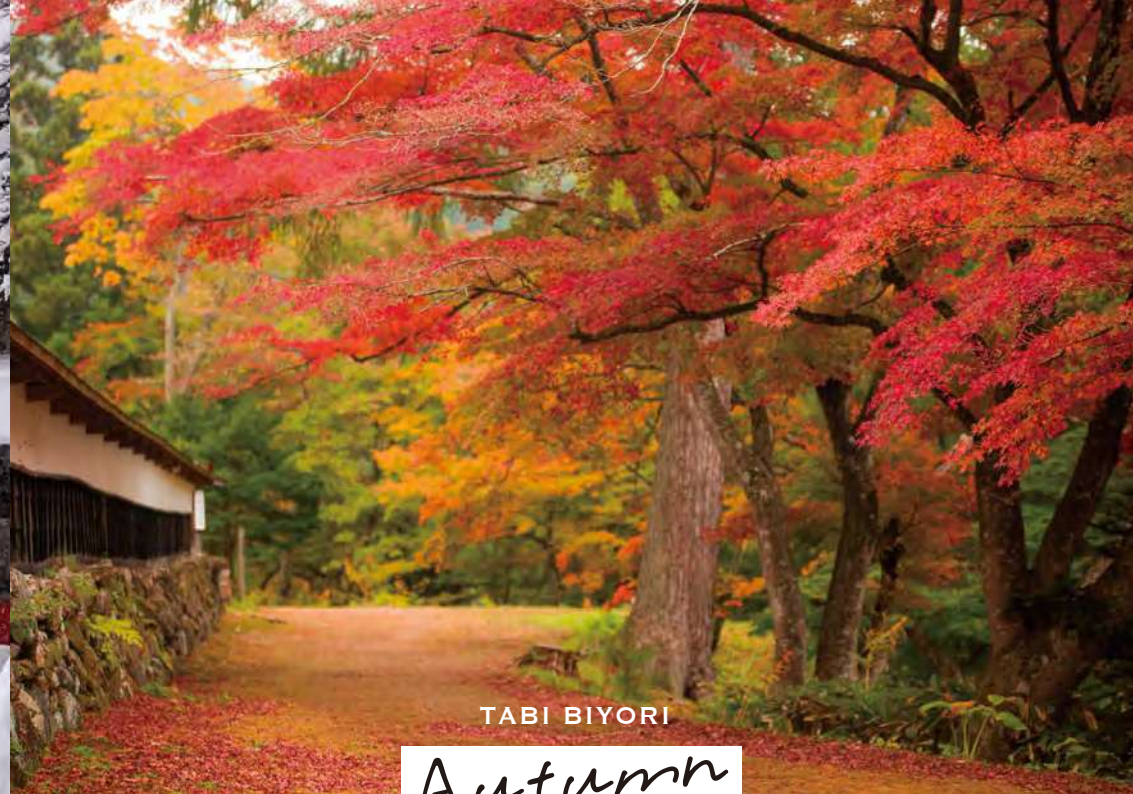
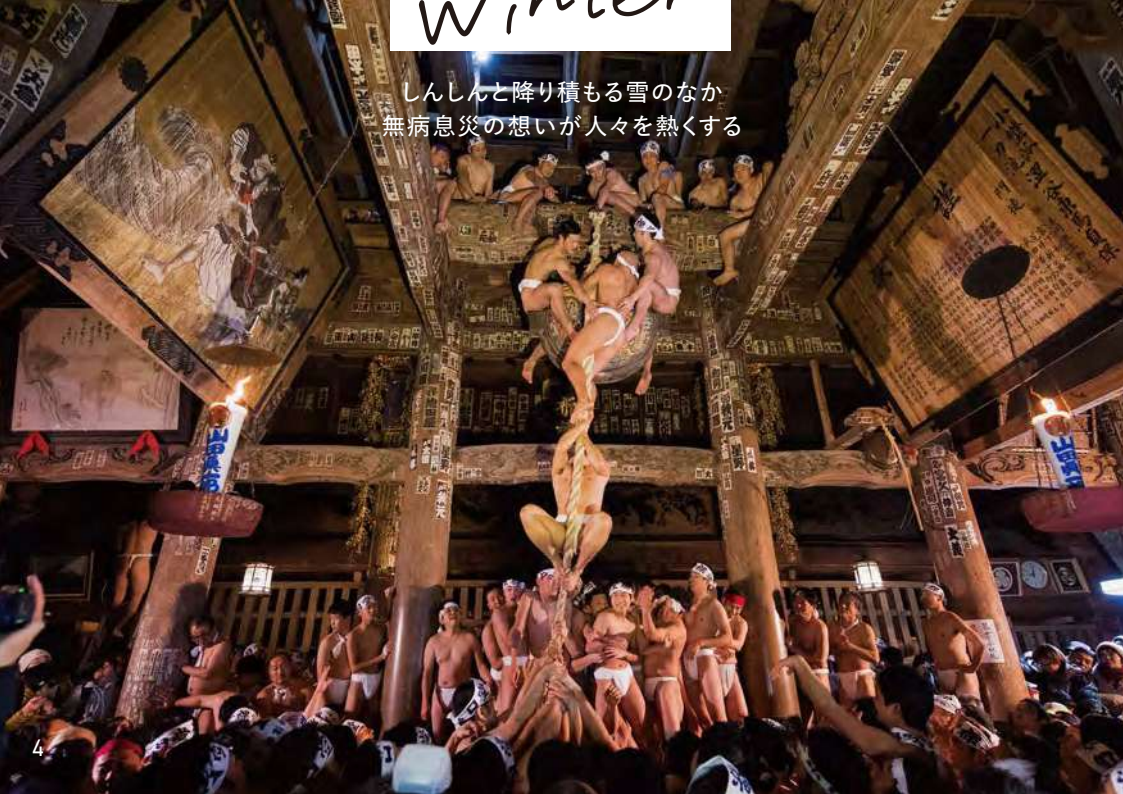




TABI BIYORI

Winter

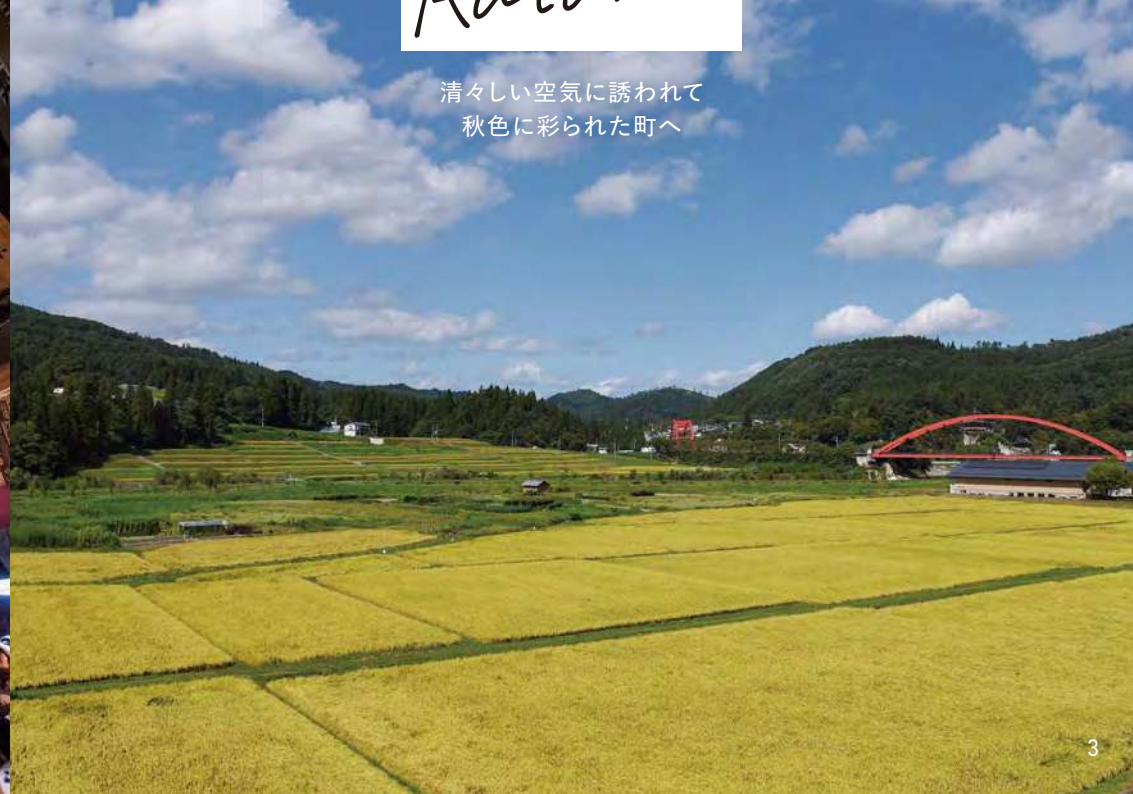
しんしんと降り積もる雪のなか
無病息災の想いが人々を熱くする



TABI BIYORI

Autumn

清々しい空気に誘われて
秋色に彩られた町へ



圓藏寺



千二百年の昔から
町を見守り続ける名刹

柳津の歴史を物語る 風光明媚な高台の寺院

只見川を見下ろす高台に建つ圓藏寺は、今から約1200年前の807(大同2)年に名僧と名高い徳一大師により開創されました。御本尊の福満虚空藏菩薩

は弘法大師の作と伝えられ、日本三大虚空藏菩薩のひとつにも数えられています。毎年1月7日には「七日堂裸まいり」が行われるほか、赤べこ伝説発祥の地としても有名。また春は桜、秋は紅葉が境内を彩り、あでやかな景色を見せてくれます。

撫で牛と赤べこ

大地震で倒壊した寺の再建を手伝った赤牛(べこ)の伝説にちなみ、境内には「撫牛(なでうし)」が祀られています。

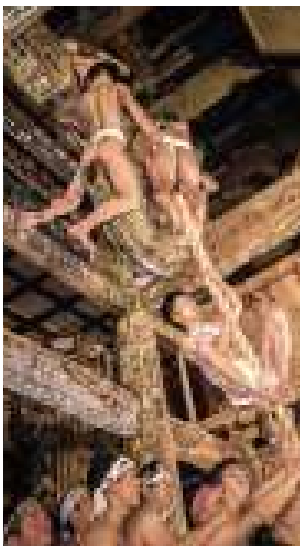


七日堂裸まいり

毎年1月7日の夜、下帯姿の男性たちが菊光堂(本堂)の大鰐口に垂らされた綱をよじ登り、1年間の無病息災を祈願する伝統行事。静かな本堂がこの日ばかりは熱気に包まれ、勇ましい姿を一目見ようと毎年多くの観光客が訪れます。

稚児行列

毎年8月10日に華やかな衣装に身を包んだ子どもたちが、只見川河畔まで練り歩き、灯ろうを流して先祖の霊を慰めます。出仕した子どもたちは福満虚空藏菩薩から一生の加護を得るといふ言い伝えがあります。



赤べこ伝説

Birthplace of the legend of
AKABEKO

発祥の地

柳津町が誇るスーパースター
赤べこにまつわるスポットを紹介！

ぼく、赤べこ。
厄除けや開運の
縁起物なんだ！

丸いフォルムがかわいい！ 柳津発のオリジナル赤べこ

会津地方の郷土玩具として知られる「赤べこ」を、赤べこ伝説発祥の地・柳津町で作ろうというミッションを受け、地域おこし協力隊として赴任した伊藤千晴さん。2年半の職人修行を経て自身の工房を立ち上げ、オリジナルの製品作りに取り組んでいます。伊藤さんの赤べこは、小ぶりで丸みのあるフォルムが特徴。「今の時代にも受け入れてもら

やすいデザインを意識しました」との言葉通り、使われている塗料も柔らかい色調でお部屋のインテリアにしてもおしゃれな印象です。今後はカラーバリエーションを増やしたり、絵付け体験を実施したりとさまざまなアイデアを温めており、赤べこの可能性はまだまだ広がりそうな予感。「伝統に縛られないものづくりを通して、赤べこを柳津町を盛り上げていきたい」と夢を語ってくれました。



雪景色の美しさに惚れ込み、群馬県から移住した伊藤さん。「好きな場所で好きな仕事ができるのがうれしい」とっこり。工房はリニューアルされたJR会津柳津駅の駅舎内に構える。



リニューアルしたJR会津柳津駅。駅舎内には赤べこ工房のほかカフェ、観光案内がある。



伊藤さんの赤べこは背中に柳津の「や」の文字が描かれているのがポイント



道の駅や
観光協会で
購入できますよ！

赤べこ伝説

今から400年ほど前。会津地方を大地震が襲った影響で圓藏寺の本堂をはじめ多数の僧舎・民家が倒壊し大きな被害が出ました。その後、本堂の再建が進められることになりましたが、高台まで大量の木材を運ぶのは容易なことではありません。誰もが困り果てていたところ、どこからともなく赤毛の牛の群れが現れ、材木運びを手伝ってくれたおかげで、無事本堂の再建が叶いました。人々は赤牛たちに感謝し、親しみを込めて「赤べこ」と呼び今に語り継いでいます。

やないづ 赤べこ親子

柳津町内ではお父さんの「福太郎」とお母さんの「満子」、そして「もうくん」、「あいちゃん」、「やなぎまる」の赤べこの一家に出会うことができます。町歩きを楽しみながら、一家を探しに行こう！



祈りの里

inori
no
sato



人々の手で守られてきた 祈りのかたちに触れる

柳津町は古くは圓藏寺を中心に栄えた門前町で、かつては多くの宿坊が軒を連ねていました。そのためか、信仰にまつわる文化や史跡、伝統の技が今も根付き、人々の心の拠り所となっています。圓藏寺から車で5分ほどの高台に建つ真言宗豊山派の寺院「月光寺」では、仏様の姿を写し描きする「写仏」が体験できます。また、町内には直径0.2〜3.5センチほどの仏像を手彫りする「微細彫刻」の作り手が営む工房があり、約440年



真言宗豊山派 月光寺副住職
藤田明愛 (みょうあい) さん

16歳で得度し、大正大学で仏教を学ぶ。現在は副住職を勤めながら写仏や写経体験(要事前予約)、ご詠歌の講習会などを行う。「描く瞑想」とも言われる写仏を、ぜひ体験してください。

月光寺
柳津字下荒町甲1096
0241-42-2567



所要時間は1時間半程度。
画材は筆ペンを使用し、見本の線を上からなぞっていく。

にわたる繊細な技が今に受け継がれています。少し足を伸ばして日本遺産「会津の三十三観音めぐり」のひとつにも選定された「久保田三十三観音」をお参りするの、地元深く根付く信仰に触れる体験となるに違いありません。心静かに祈りの里をめぐる、そんな旅はいかがでしょうか。

十三講まいり

数え年で13歳を迎えた男女が、厄難を払い知恵を授けていただけるように祈願するため圓藏寺へ参拝する習わしで、現在も会津一円で広く行われています。かつては成人の儀式のひとつでもありました。



門前町の
面影を探しに
出かけよう♪



久保田三十三観音

柳津町の久保田地区観音山には、33体の観音菩薩像がひっそりと祀られています。小道に沿って並んでいるため、別名「まわり観音」とも呼ばれており、中には十字架を手にした「マリア観音」と呼ばれる珍しい観音様も見るすることができます。



微細彫刻

真弓の木の木片にミリ単位の小さな仏像を手彫りする微細彫刻は、柳津町が世界に誇る伝統工芸品です。約440年の歴史があり、現在では「富山工房」の金坂富山(ふざん)さんがただひとりの伝承者として技術を繋いでいます。

富山工房
柳津字上中平甲710
0241-42-2066

斎藤清

KIYOSHI SAITO
MUSEUM OF ART,
YANAIZU

美術館

柳津町ゆかりの画家が遺した

魅惑の作品を訪ねて

只見川沿いの小さな美術館へ



柿の会津(38) 1996年 紙、木版



霧りの会津(7) 1983年 紙、木版



かすみ 慈愛 1991年 紙、木版

広々とした展示室でゆったりとアートに浸れます。

斎藤清作品のポストカードや会津の伝統工芸品などが並ぶミュージアムショップ。



斎藤清作品が一堂に集う 世界でひとつの美術館

1950年代頃から半世紀にわたり、世界を股にかけ活躍した画家・斎藤清。

独学で油絵を学んだのち、木版画に傾倒していくと、次々と優れた作品を発表して世界中から高く評価されました。なかでも会津各地の雪景色を描いた『会津の冬』シリーズは有名で、今なお、幅広い世代に愛されています。ここ柳津町は斎藤清が90歳で亡くなるまでの約10年を過ごした町であり、さまざまな創作を行った町でもあります。

1997年に開館した「やないづ町立斎藤清美術館」は、そんな現代版画の一時代を築いた斎藤清作品の収蔵と展示を行う国内唯一の美術館。約1000点にも及ぶ収蔵品の中から、さまざまなテーマに沿って作品を選

び、企画展として一般公開しています。

「斎藤清は究極的にシンプルな私たちを生涯追い求めた人。冬の会津の風景を数多く描いたのも、建物や山が雪に覆われることで、フォルムが際立つからだと言われています」

そう語るのは、学芸員の伊藤たまきさん。独特の陰影表現や木目など画材のマチエール(材質)をあえて使った技法なども鑑賞のポイントだそう。

また、近くには「斎藤清アトリエ館」もあり、合わせてめぐるのもおすすめです。

独創的で斬新。ユーモラスで妖艶。見るたびに新たな発見のある斎藤清の世界を訪ねてみませんか。



やないづ町立斎藤清美術館 学芸員 伊藤たまきさん

筑波大学大学院人間総合科学研究科芸術学専攻修了。2017年から現職。「作品はもちろんですがアートテラスからの景色も楽しんでほしいです」。

やないづ町立斎藤清美術館
柳津字下平乙187
0241-42-3630

のんびり
アート鑑賞で
感性を磨く



斎藤清アトリエ館

斎藤清が晩年に暮らした家を記念館として公開。版画制作のための作業台や彫刻刃などが生前使用していたままの状態で見学しています。3階のアトリエからは雄大な只見川の流れと山々の美しい眺めを見ることができます。

柳津字十二所乙137-1
0241-42-2509





宿坊のおもかげの宿 月本旅館

その昔より宿坊としての役目を果たしながら、参詣の人々に愛されている。
柳津字諏訪町甲124
0241-42-2233



足湯「湯足里」

足湯「湯足里」でほっこり。憩の館ほっとin やないづでは、奥会津9エリアの温泉をテーマに、歩く足湯として無料で開放している。
柳津字下平乙151-1
0241-41-1077



梵鐘に心やすらぐ宿 旅館 内田屋

圓藏寺のすぐそばに位置し、鐘の音を聞きながら露天風呂が味わえる。
柳津字寺家町甲174
0241-42-2021



公共の宿 つきみが丘町民センター

つきみが丘の高台に位置し大浴場からは只見川の雄大な流れが望める。
柳津字諏訪町甲61-2
0241-42-2302



想い出づくり 花ホテル 滝のや

小さなホテルの家庭的なおもてなし。かけ流しの天然温泉が自慢。※4LDKの1棟貸しも有
柳津字寺家町甲153
0241-42-2010



体の芯から
ポカポカが続く
温まりの湯

千年の昔より真心こめて あづまや

圓藏寺の眼前の純温泉宿。古くから宿坊として安らぎを提供してきた。
柳津字寺家町甲173
0241-42-2250



河畔の宿 月見亭

吊り橋のたもとにある一軒宿。只見川の景観とその向うに圓藏寺が望める。
小橋字瑞光寺甲2771
TEL.0241-42-2348
※温泉ではありません。



瀬流の宿 かわち

新鮮な山や川の幸をふんだんに、心尽くしのお料理と温かいおもてなし。
柳津字下平乙150-1
0241-42-2600

宿坊の面影を残す、只見川沿いの静かな温泉郷



柳津温泉

圓藏寺の境内にある源泉から湧出する柳津温泉。町中心部には宿坊の名残を残すかのように旅館が立ち並び、温泉街の雰囲気味わうことができます。泉質はナトリウム塩化物泉で、皮膚病や婦人病に効果あり。保温効果がとても高いことから別名「温まりの湯」とも呼ばれ、訪れる人を癒やしています。



まごころと閑静な秘湯 旅館新湯

無色透明、湯にはトロリとした感じがあり、二つに仕切られた浴槽は源泉掛流しの贅沢な湯。

砂子原字老沢931
0241-43-2024



湯花の香るいで湯 旅館中の湯

3つの泉質が楽しめる中の湯では、内湯と露天風呂の両方が満喫できる。

砂子原字長窪884
0241-43-2424



奥会津のいで湯 老沢温泉旅館

神の隠れ湯ともいわれる秘湯。老沢温泉旅館には、温泉神社が奉じられている。

五畳敷字老沢114
0241-43-2014



家庭的なお宿 滝の湯旅館

内湯と川に面した露天風呂がある。自慢の露天風呂は四季折々の風情が感じられる。

砂子原字長坂829
0241-43-2311



山村公園せいざん荘（日帰り湯）

大自然を満喫しながら大浴場や露天風呂をゆったりと楽しめる日帰り温泉施設。名物のそばも味わえる。

砂子原字長窪921
0241-43-2727



渓流に風情を残す 下の湯（日帰り湯）

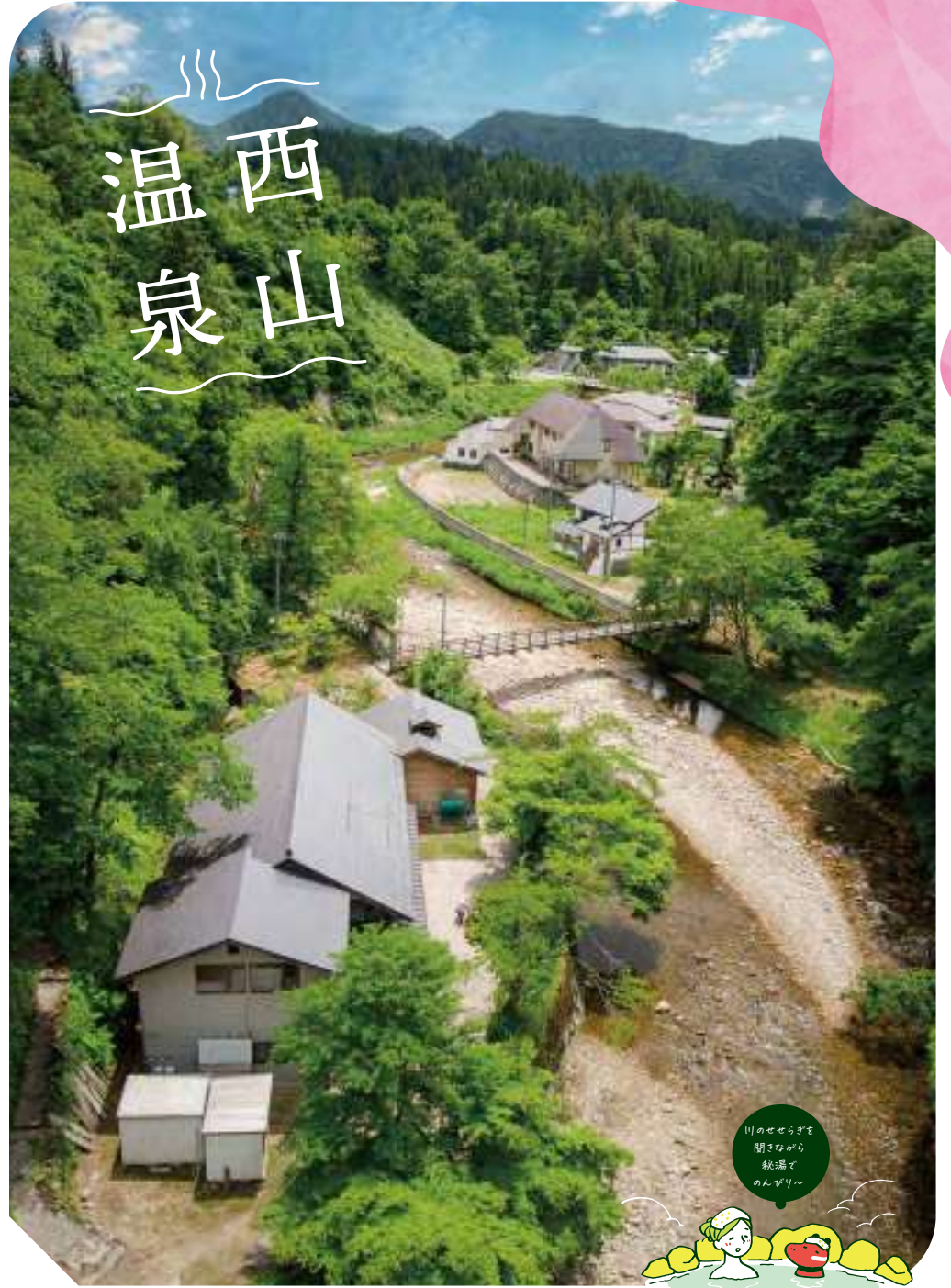
吊り橋を渡った先にある「下の湯」は、現在は日帰り入浴のみとなっております。要予約となっておりますので、下の湯にお越しの際は事前にお問い合わせください。

五畳敷字下ノ湯44
0241-43-2021

山間にひっそりと湧く、神の隠れ湯

只見川の支流、滝谷川沿いの集落に湧く西山温泉は、七二七（養老元）年の発見と伝わる歴史ある温泉郷です。その昔、伊佐須美神社（会津美里町）を守護するため大和朝廷が遣わした善波命（ぜんなみのみこと）が、当時の会津地方の有力豪族・千石太郎と激しく戦い、傷ついた体をこの湯で癒やしたと伝わります。源泉が8つあり、旅館ごとに異なる源泉を引いているほど湯量は豊富。それぞれの湯を一巡りすると万病が治るといふ伝承から、別名「神の湯」とも呼ばれ、地元の住民や遠方からの湯治客に親しまれています。泉質は硫酸成分を含む塩化物泉。神経痛や皮膚疾患、呼吸器系の病気に効能があるそう。何より、町の喧騒から離れた静かな温泉はデトックスに最適！ 日々の忙しさから解放され、ゆったりと温泉三昧を楽しみましょう。

西山温泉



川のせせらぎを聞きながら秋湯でのんびり〜



nishiyama onsen



SUP体験

インストラクターが準備運動から漕ぎ方のコツ、風景の見どころなどをしっかりガイド&レクチャーしてくれるので安心。道具や救命具はレンタルできるため、手ぶらで楽しめます。所要時間は約2時間。体験可能期間は4月から11月まで。要予約。

□体験費用:

中学生以上:6,500円
小学4~6年生:5,000円
小学3年生以下は要相談



柳津観光船 社長
鈴木悠貴さん(左)とスタッフの皆さん

2017年に休業状態だった遊覧船を復活。自ら操縦する一方、2019年からはSUP体験も始動させ、インストラクターも務めています。「水上から眺める絶景をお楽しみください」。

柳津観光船
柳津字下平乙147
070-4397-0657



初心者大歓迎！ 只見川でSUPに挑戦

町の中心部を只見川が流れる柳津町では、豊かな自然を生かしたアクティビティにもチャレンジできます。なかでもオススメは、近年話題のSUP(サップ)。サーフボードの上に立ち、パドルと呼ばれる楫で水上を漕ぎ進むウォータースポーツです。インストラクターの鈴木悠貴さんによると、SUPの魅力は「性別や年齢層を問わず楽しめること」。初めてでもコツをつかみやすく、簡単なレクチャーを受けるだけで誰でも乗れるようになるそう。特に只見川は流れがゆるやかでSUPを楽しむにはぴったりなのだとか。さらには天然記念物のウグイにエサやりができた、川の中ほどにある「亀石」に上って休憩したりと、アトラクションも満載です。

柳津観光船

道の駅近くの乗船場から出発し、瑞光寺橋をくぐり、圓藏寺を眺める往復約4キロのコース。SL型がかわいい12人乗りの遊覧船は、ファミリーにも人気。

□体験時間:約60分

□人数:1名より

□実施場所:瑞光寺橋下

□営業日:土日祝のみ運行

11月中旬~4月中旬の冬期間は運休です。

□体験費用:

大人(13歳以上):1600円

子ども(1歳~12歳まで):800円



ここでしか
できない体験を
ぜひ思い出に...

只見川で見る&遊ぶ
大自然を感じる特別な体験

やないっ アクティビティ



吹き抜ける風が
気持ちいい!

フィットネス
感覚で
楽しめちゃう♪



世界に
ひとつだけの
赤べこが完成!



赤べこの絵付け体験
オリジナル赤べこをデザイン
できます。

- 所要時間: 約60分
- 料金: 1,800円
- ◎ 憩いの館ほっと in やないづ
- 0241-41-1077
- 定休日: 4月~11月無休
12月~3月第2,4木曜日

体
tai

雪下キャベツ掘体験

純白の雪の下から、みずみずしいキャベツを掘り出す体験ができます。

- 体験時間: 約40分
- 料金: 2,200円
- ◎ 奥会津観光
- 0241-42-2244



木工体験

桐キーホルダー、桐ペン立て等その他様々なメニューを体験できます。

- 所要時間: 30分~
- 料金: 700円~
- 内容: 桐キーホルダー、桐ペン立て等、その他様々なメニューを体験できます。
- ◎ 木工房MEGURO
- 090-5234-2314



ピザ焼き体験

米粉の生地に地元野菜の具材をトッピングして焼いたピザは格別です。

- 体験時間: 約60分
- 料金: 窯使用料3,300円
材料代(1枚分)1,200円
(5名様以上から予約可能)
- 定休日: 4月~11月無休
12月~3月第2,4木曜日
- ◎ 憩いの館ほっと in やないづ
- 0241-41-1077



あわまんじゅう作り体験

1時間ほどのあわまんじゅう作り体験ができます。それぞれ予約が必要です。所要時間は人数により異なります。(目安約60分)

- 所要時間: 60分~90分
- 人数: 3~48名まで
- 料金: お一人様1,200円
- ◎ 小池菓子舗
- 0241-42-2554 (10名様より)
- ◎ 岩井屋
- 0241-42-2107 (5名様より)



験
ken

ブルーベリー狩り体験 7~8月
ひとつひとつ丁寧に栽培された果実。
豊かな酸味を味わえます。

- ◎ 観光農園「風の丘」
- 開園時間: 9:00~15:00
- 入園料: 大人800円(中学生以上、お土産付)
小学生500円/乳幼児無料
- 定休日: 火曜日※持ち帰り可(時価)
- 090-5183-6770
- ※秋から冬にかけてはラズベリー狩り、そのほかジャム作り体験もできます(要予約)。

- ◎ にしやまブルーベリー園
- 開園時間: 6:00~10:00
- 入園料: 500円※持ち帰り(1kg)1,500円
- 定休日: 不定休
- 090-7565-9308

柳津のソウルフード

柳津ソースカツ丼

会津名物のソースカツ丼を、卵焼きでアレンジするのが柳津流。
シャキシャキキャベツと秘伝のソースで
ごはんがすすむ！



地元の特産品を使った
こだわりメニューから、
ここでしか味わえない
個性派まで。

柳津町には

おもしろいものが
いっぱい！

町歩きを

楽しみながら、

イチオシのグルメを

食べ尽くそう！

Enjoy the YANAIZU gourmet!!

柳津

Autonomous Sensory Meridian Response



会津地鶏の親子丼

三島町産の会津地鶏と卵を使用した会津地鶏の親子丼。とろとろの卵に会津地鶏が包まれ、一口食べると濃厚な味が全体に広がります。

憩の館ほっとinやないづ
0241-41-1077



特製にんにくラーメン

海水を散布したミネラル豊富な土壌で栽培された、柳津産(農業法人会津ガーリック株)のにんにくを使用した特製にんにくラーメン。

すゞや食堂
0241-42-2516

名物博士そば

柳津手打ちそば

冷涼な博士山麓で栽培したそば粉を100%使用。熟練の職人の手による、香り高く風味豊かなそばをご賞味あれ！



パングラタン

人気の「耳までやっこい食パン」に、自家製ホワイトソースのグラタンを詰めて焼き上げた一品。アツアツを召し上がれ！

パン工房あかべこ
0241-42-7111

柳津ソースカツバーガー

柳津風ソースカツ丼が発案のルーツ。卵焼きを敷いたソースカツとキャベツをバンズではさむ。まさにソウルフルなご当地バーガー。

観光物産館清柳苑
0241-42-2324



小さな町の洋食屋さんで街中にあり気軽にお立ち寄りいただけます。お昼はパスタやハンバーグ、コーヒーが中心で、夜はピザやおつまみなどアルコールも提供しています。

キッチン柳
0241-42-2239



あわまんじゅうが買えるお店



どのお店の
あわまんじゅうが
お気に入り?



いなば菓子店
9:00-17:00
[不定休]
柳津字岩坂町甲208
0241-42-2511



小池菓子舗
8:30-18:00
[無休]
柳津字岩坂町甲206
0241-42-2554



岩井屋
9:00-17:00
[不定休]
柳津字寺家町甲147
0241-42-2107



はせ川屋
8:00-17:00
[不定休]
柳津字岩坂町甲180
0241-42-2383

和スイーツストリート
門前町を歩けば、気になる和スイーツがそこかしこに
イートインコーナーで休憩も



あわぜんざい

炒ったあわを加えた優しい甘さの小豆ぜんざいに、モチモチのあわ団子をトッピング。冷凍品のため、おみやげにもおススメ。

小池菓子舗
0241-42-2554



絶品あんバタートースト

地元のお母さんの手作りあんこと、コク深い佐渡バターが相性抜群。備え付けのトースターを使って自分で焼き上げるスタイルも楽しい。

パン工房あかべこ
0241-42-7111



赤べこ堂最中アイス

素材にこだわったクラフトアイスを赤べこ型の最中でサンド。その場で好きなフレーバーが選べて、食べ歩きにもぴったり。

赤べこ堂
0241-42-7002

季節限定さくらあわまんじゅう

春には季節限定の桜あわまんじゅうを味わうことができます。それぞれの店舗で作り方が違うので、食べ比べも楽しめます。



栗まんじゅう



もちもち / mochi-mochi



柳津名物
あわまんじゅう
やないづスイーツ

圓藏寺とのゆかりも深い
縁起物のお菓子

柳津町のあわまんじゅうは、粟ともち米で作った生地であるこを包んだお菓子。その始まりは約200年ほど前。圓藏寺や民家などが大きな火災に見舞われた際、当時の鳴巖和尚が二度と災難に「あわ」ないようにとお守りとして配ったまんじゅうが、時を超えて名物として定着したと伝わります。モチモチ、プチプチとした生地にあんこがたっぷり入って、つい1個2個と手が伸びてしまうおいしさ。現在、町内の4つの菓子店で製造していますが、それぞれに見た目も味も異なるため、食べ比べてみるのもおススメ。冷めて硬くなっても、再度蒸し直せばできたての味が楽しめます。素朴さの中にこだわりのつまった柳津町の銘菓を、お土産にどうぞ。

まちなか Town Walking Map 散策MAP

歴史あるお寺や癒やしの温泉、グルメも見どころ満載の柳津町。マップをおともに町歩きを楽しもう！



雪掘りロールキャベツ

雪の下で甘みを増した大玉キャベツで、旨味が増った合びき肉を包んだボリュームーな一品。コンソメとデミグラス、二つの味を選びます。

(有)河内屋商店
0241-42-2215



ドレッシング

ミネラル、食物繊維たっぷりの粟を使用した、もちもちした食感豊かなあわドレッシング。柳津産のにんにくを使用した焼き肉のたれとキムチの万能たれ、どれも町内産の素材を使用しているオリジナル商品。

道の駅「会津柳津」観光物産館清柳苑
0241-42-2324



地元発のおすすめの特産品を集めました。どれも柳津の「おいしい」が詰まった逸品です。



ちからにんにく

福島県会津地方の大自然の恵みを受け、雪深く寒暖の差が激しい土地にてにんにくを栽培しております。

会津ガーリック(株)
0241-42-3388



うめえがなピザ

「うめえがな」とは会津の方言で「おいしいもの」の意味。ブルーベリーや天然ワラビなど奥会津の味覚が詰まった4種のピザで食べ比べを楽しんで！

ティールーム山ねこ
090-7565-9308



どぶろく

棚田で自家栽培したコシヒカリを原料に、丁寧に仕込んでいます。お米の旨みを感じられるクリアな味わいは、和食はもちろん肉料理にもぴったり。

農家民宿吉野屋
0241-43-2143



憩の館ほっとinやないづ

柳津字下平乙151-1 0241-41-1077
【営】9:00~17:00(4月~11月の土日祝日は~18:00)
【休】4月~11月無休、12月~3月 第2,4木曜日



道の駅「会津柳津」 観光物産館清柳苑

柳津字下平乙179 0241-42-2324
【営】9:00~18:00(12月~3月は~17:00)
【休】無休

お土産処



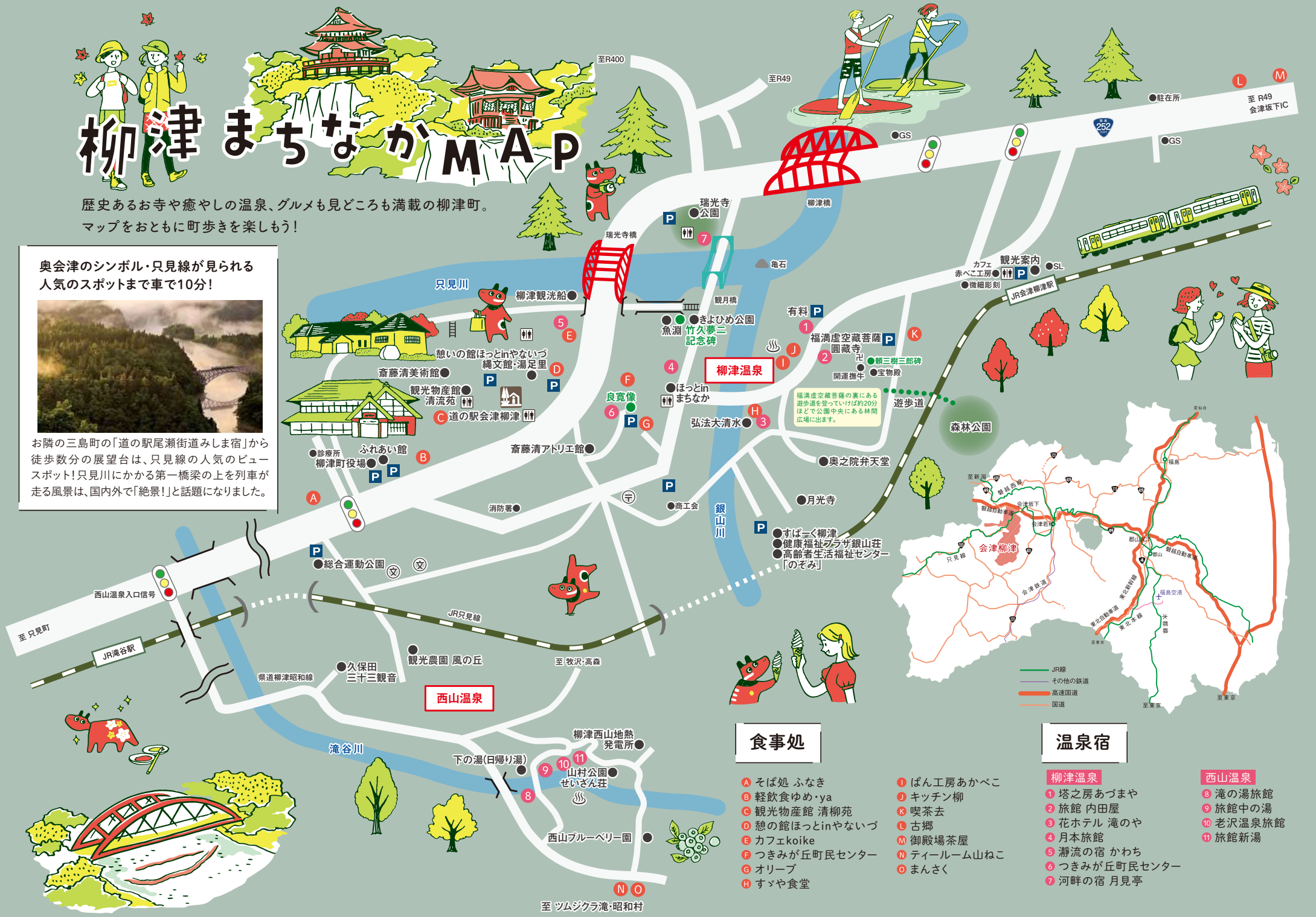
柳津まちなかMAP

歴史あるお寺や癒やしの温泉、グルメも見どころも満載の柳津町。
マップをおともに町歩きを楽しもう！

奥会津のシンボル・只見線が見られる
人気のスポットまで車で10分！



お隣の三島町の「道の駅尾瀬街道みしま宿」から
徒歩数分の展望台は、只見線の人気のビュー
スポット！只見川にかかる第一橋梁の上を列車が
走る風景は、国内外で「絶景！」と話題になりました。



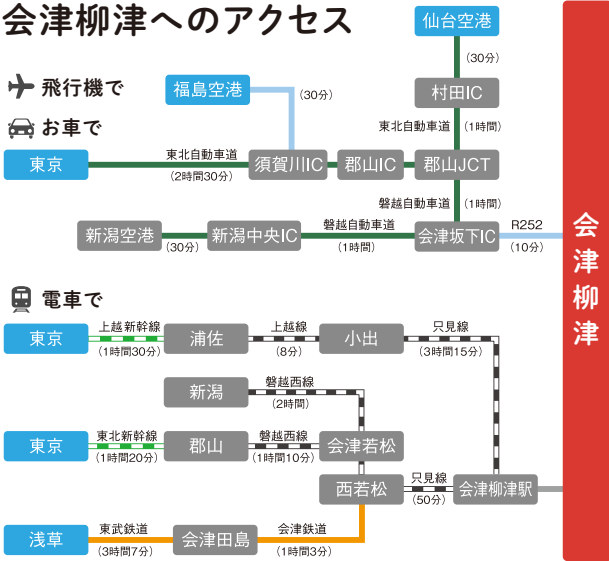
食事処

- A そば処 ふなき
- B 軽飲食ゆめ・ya
- C 観光物産館 清柳苑
- D 憩の館ほっとinやないづ
- E カフェkoike
- F つきみが丘町民センター
- G オリーブ
- H すゝや食堂
- I ばん工房あかべこ
- J キッチン柳
- K 喫茶去
- L 古郷
- M 御殿場茶屋
- N ティールーム山ねこ
- O まんざく

温泉宿

- 柳津温泉**
 - 1 塔之房あづまや
 - 2 旅館 内田屋
 - 3 花ホテル 滝のや
 - 4 月本旅館
 - 5 湍流の宿 かわち
 - 6 つきみが丘町民センター
 - 7 河畔の宿 月見亭
- 西山温泉**
 - 8 滝の湯旅館
 - 9 旅館中の湯
 - 10 老沢温泉旅館
 - 11 旅館新湯

会津柳津へのアクセス



赤べこ伝説発祥の地
柳津町

地域振興課 / 観光商工係

〒969-7201
福島県河沼郡柳津町大字柳津字下平乙234
TEL.0241-42-2114 FAX.0241-42-3495
kankou-shoukou@town.yanaizu.fukushima.jp

<http://www.town.yanaizu.fukushima.jp/index.php>

柳津観光協会観光案内所

〒969-7201
福島県河沼郡柳津町大字柳津字寺家町甲176-3
TEL.0241-42-2346 FAX.0241-42-2442
yanaizu@saturn.plala.or.jp

<http://aizu-yanaizu.com/>



LIKE ART.
YANAIZU

